

# 科学ヘジャンプ・イン・東京2011 報告書

自主開催

## Jump-to-Science in TOKYO 2011 Report

### 概要

日程：平成23年11月5日(土) 9時～15時30分

会場：筑波大学附属視覚特別支援学校

対象：視覚障害のある小学校5年生以上の小中高生で、科学に興味を持ち、当日のイベントに参加可能な関東地区の児童・生徒

参加者：57名(小学生20名、中学生20名、高校生17名)

保護者・付添い人：40名

見学者：23名

スタッフ：91名

主催：科学ヘジャンプ・イン・東京実行委員会

後援：全国盲学校長会

☆ 外部の科学館・博物館との連携でワークショップを実施

☆ 昨年に引き続き50名を超える子どもたちが参加

### プログラム

9:00～ 9:40 受付

9:50～10:20 開会の集い

10:30～12:00 ワークショップ

・保護者企画 (班別WS見学)

【小中学生WS】

- ・理科実験を楽しもうー電気回路を自分で組み立てよう
- ・数でゲーム
- ・サメという魚
- ・サワッテ ミル カイ
- ・触って表現しよう
- ・ごはんをとかそう
- ・多面体を探る

- ・触ってみよう、本物の石器・土器
- ・気体を発生させて性質を調べよう
- ・大学生と共に2次元で遊ぼう

【高校生WS】

- ・DNAをこの手に
- ・バーコードを作ってみよう
- ・骨は語る(基礎編)
- ・パソコンを分解しよう
- ・マインスイーパーを通じて感じる Windowsの世界

12:00～13:20 昼休み

13:30～15:00 ワークショップ

・保護者企画 (意見交換会)

【小中学生WS】

- ・敷き詰めて量を感じよう
- ・ごはんをとかそう
- ・火を使う人としての進化の一步を踏み出そう
- ・触ってみよう、本物の石器・土器
- ・魚を調べよう
- ・魚の形はどんなカナ

- ・サワッテ ミル カイ
- ・数独で遊ぼう
- ・多面体を作って探る
- ・サメという魚

【高校生WS】

- ・アメンボはなぜ浮かぶ
- ・自分の好きな物語をゲームにしよう
- ・DNAをこの手に
- ・源氏香

15:10～15:30 閉会式

数独で遊ぼう



サメという魚



パソコンを分解しよう



自分の好きな物語をゲームにしよう



ごはんをとかそう



DNAをこの手に



魚を調べよう



気体を発生させて性質を調べよう



### 感想(生徒)

- ・とても理科に対して興味を持てたのでよかったです。
- ・教えてくださった先生方が本当に生き生きと研究しているのが伝わってきて、大学に入学してから私もそのように学んでいきたいと感じた。
- ・ふだん受けたことのないようなことが学べ、とても良かったと思う。新しい発見があった。
- ・なかなかできない体験ができて楽しかった。

### 感想(保護者)

- ・子供がとても楽しそうに昼休み話してくれた。大人も本気で楽しめる内容だった。午後の情報交換会も有意義だった。
- ・ワークショップの内容がとても楽しかったようで、子供が喜んでいたので参加して良かったと思う。同年代の同じ程度の障害の子供達と触れ合えて、子供も親も良い経験が出来た。
- ・視覚障害のあるお子さん達が、どうやったら楽しめるのか、理解しやすいのか、伝わるのか、講座を通して学ぶことができた。
- ・興味があることを上手に教えてくれた。手で触れることが大切なことあるのだと感じた。他のたくさんの視覚障害の方と会えたのも良かった。